

施策分析シート（平成28年度）

No1

施策名	資源循環型社会の形成	施策No	07-03	部課名	環境清掃部清掃リサイクル課
				課長名	嶋根 内線 470
関連部課名	環境清掃部荒川清掃事務所				
行政評価	分野	IV	環境先進都市		
事業体系	政策	07	地球環境を守るまちの実現		

目的 使い捨て型の生活を見直しごみを減らす環境に配慮した暮らし方の推進や意識啓発を行っている。荒川区の強みである下町の人情あふれるコミュニティを基盤として環境区民が一体となり明確な目標と強い問題意識を共有し持続可能な質の高い循環型社会を形成する。

指	幸福実感指標名 (5段階評価)	指標の推移			指標に関する質問文	
	25年度	26年度	27年度			
①	持続可能性	3.50	3.45	3.42	あなたは、節電やごみの減量など、地球環境に配慮した生活をしていると思いませんか？	
②						
③						
④						

標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
	25年度	26年度	27年度	28年度 見込み	目標値 (28年度)		
①	総排出量：トン/年	68,480	66549	66158	67889	67,263	総ごみ量+資源回収量の合計※33年度目標：64,140 t
②	総ごみ量：トン/年	57,072	55546	55441	54241	53,214	33年度目標 48,082 t
③	リサイクル率：%	16.7	16.5	16.2	20.0	21.0	資源量/(総ごみ量+資源量)※33年度目標：25%
④							
⑤							

現状と課題（指標分析）

- ・総排出量の削減に向けては、3Rのうち環境にやさしい環境行動であるリデュース（発生抑制）、リユース（再利用）に重点を置く必要がある。
- ・総ごみ量の削減に向けては、家庭から出される可燃ごみ（ごみ排出原単位調査）の約5割を占める「生ごみ」の減量に向けた施策を重点的に行う必要がある。
- ・リサイクル率の向上に向けては、平成25年度から小型家電の回収を開始したが、引き続き、ごみと資源の分別、特に、可燃ごみに混入している「紙製容器包装類」や不燃ごみに混入している「びん・缶」について、分別の徹底を図る必要がある。

今後の方向性

《今までの成果及び指標分析を踏まえて》

- ・ごみの発生抑制（リデュース）に向けた、環境にやさしいライフスタイルやビジネススタイルへの転換を区民・事業者・区が一丸となって進めるとともに、生ごみの減量や資源の分別徹底等により、総ごみ量の削減及びリサイクル率の向上を図る。（総ごみ量1人1日当たり200g、25%削減）
- ・荒川区ならではの集団回収がさらに地域に根付き、発展していくよう、努めていく。
- ・資源のリサイクル体制の更なる充実に向けて、新リサイクルセンターの整備により自区内における資源の中間処理体制の強化とともに、新たな資源回収品目の検討・推進を図っていく。
- ・古布回収は、調査回収事業から区内全域への拡大を推進していく。

施策の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
推進	推進	区民、事業者と行政が一体となり、3Rの視点に立った、循環型社会の実現を目指す施策を推進する。

施策を構成する事務事業の分類

事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		26年度	27年度	28年度	29年度	
一般廃棄物処理業等許可 事務事業	06-02-01	187	735	推進	推進	業者の資質向上による区民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るとともにコンプライアンスの徹底を図る必要がある。
広報普及事業	06-02-04	3,110	3,094	重点的に推進	重点的に推進	ごみの減量やリサイクルを推進するためには、社会全体での取組みが重要であり区民や事業者の意識改革、実践が不可欠であり、一般廃棄物処理基本計画実現に向け、より一層取組みを強化していく必要がある。
リサイクル実践活動事業	06-02-06	0	0	継続	継続	区民のリサイクル実践活動がさらに地域に根付くよう引き続き場の提供、支援を行う。
集団回収支援事業	06-02-07	335,566	338,081	重点的に推進	重点的に推進	区のリサイクル支援事業の中核的業務であり、さらなる推進を目指す。
空き缶圧縮機整備事業	06-02-08	0	0	改善・見直し	休止・完了	平成28年度より集団回収事業費に統合
ストックヤード整備事業	06-02-09	151	137	改善・見直し	休止・完了	平成28年度より集団回収事業費に統合
普及啓発事業	06-02-10	95	59	推進	推進	区民の3R活動をアシストすることは、さらなる環境意識の向上に不可欠である。
資源回収事業（清掃リサイクル課）	06-02-11	18,019	15,652	推進	継続	集団回収支援事業と一体的な実施等により資源化を推進させていく。
尾竹橋施設管理運営事業	06-02-12	1,002	737	継続	継続	現状の体制で実施していく。
生ごみ処理機等購入助成事業	06-02-13	274	83	推進	推進	ごみ減量化のためには、生ごみ対策を重点的に行うことが効果的である。
小型家電リサイクル推進事業	06-02-14	0	0	継続	継続	小型家電の回収を広く周知するため積極的な広報活動等を行う。

新リサイクルセンター整備事業	06-02-15	16,005	327,381	重点的に推進	休止・完了	循環型社会の形成には、安定的な資源中間処理体制の整備が不可欠なため、優先度は高い。 ・平成28年10月竣工
リサイクルセンター管理運営費	06-02-16	-	-	重点的に推進	重点的に推進	循環型社会の構築を目指すため、「Rの充実を推進する拠点」としてのリサイクルセンターの役割は重要 ・平成28年10月から管理運営開始
資源回収事業(荒川清掃事務所)	06-03-13	6,378	6,088	継続	継続	事業系ごみを削減するために、効率的な回収体制を構築し、資源化を促進させていく。
合 計		380,787	692,047			

